

実践記録 シリーズ 96

「五泉ふくろう大学」 —五泉市大学連携講座の開催—

五泉市教育委員会 生涯学習課 文化振興係 主査 山崎 天

1. はじめに

五泉市は、県都新潟市に接し、豊かな自然と水資源を背景に、農業や織物、ニット産業によって発展してきたファッションと清流のまちです。

産業や農業など他の地域に先駆け意欲的に取り組む気質は、私たち市民の誇りです。生涯学習の分野でも高度で先進的な知識の習得を願う要望は高く、それにお応えし開設したのがこの「五泉ふくろう大学」です。



2. テーマの設定と講義内容

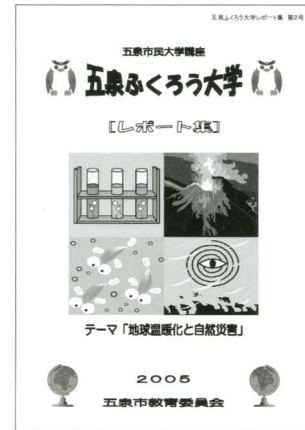
五泉ふくろう大学は、新潟大学理学部と連携し、1年目は、五泉市の誇りである「自然・水・清流」をテーマに、今年度は水害や震災に関心が高いことから「地球温暖化と自然災害」をテーマに全5回の講座として開催しました。

受講料は有料で、1回あたり千円としました。

平日夜間の開催にもかかわらず、市内を中心に隣接市町村からも受講の申込みをいただきました。

講師は、新潟大学理学部の協力により、それぞれの分野で最先端の研究をされている教員の方々を派遣していただきました。

講義は、実験やパソコンのパワーポイントを使用し、高度で専



門的な説明にもかかわらず、非常に分かりやすいものでした。受講生を引き込む講義内容のおかげで、出席者の聴講態度は講師の先生方が驚くほど熱心でした。

3. 学生証と履修証

少しでも学生の雰囲気を感じていただくために、学生証と履修証を発行しました。

受講生の多くは数十年ぶりに持つ学生証を大切に保管し、ファイルやノートにしっかりととはさんで持参していました。

履修証は受講した講義のテーマを記載して全員に発行し、最終日に全5回出席した受講生の代表者へ五泉ふくろう大学学長である五泉市教育長から授与しました。

4. レポート集の刊行

大学では単位の修得のため、試験やレポートの提出があります。五泉ふくろう大学でも学んだ成果を何とか形にできないかと考え、受講生の感想や学んだことをまとめたレポート集を刊行しています。

受講生から提出していただいたレポートを読むと、各回の講義内容をしっかりと記録したものやさ

らに掘り下げたもの、社会に対する提言や今後の生活に役立てようとする内容が記されています。

どのレポートも労作で、いきいきと学習された受講生の姿を思い浮かべることができるのではないかと考えています。

5. おわりに

仕事が終わったあと時間を気にしながら急いで駆けつけてくる姿や、数十年ぶりに学生時代にもどり楽しんでいる表情をみると、大学等の高等教育機関と連携した講座の開設を多くの方が心待ちにしていたことがうかがえます。

これからの生涯学習は、高度で専門的な知識の習得を願う市民の欲求に応えることと、学んだ成果を活かせる生涯学習社会の実現が大きな課題になると思います。

	開講日	講義テーマ
①	9/ 1 (木)	地球温暖化とは
②	9/15 (木)	日本列島の自然災害
③	10/ 6 (木)	地球温暖化と自然災害
④	10/13 (木)	地球温暖化の生物への影響
⑤	10/27 (木)	地球温暖化防止対策について

